

# 【記入例】

令和6年10月改正

## 認定請求書

※住民日 . . . ※受付確認年月日 窓 郵 マイナ

請求者は、父母等のうち、所得が高い方（主たる生計維持者）です。

※引継事項

提出年月日	令和6年 9 月 10 日		①(ふりがな) <b>きたく たろう</b>		②性別 <b>男</b> ・女	③配偶者 <b>有</b> ・無		④生年月日 <b>S53・10・15</b>	⑤勤務先 <b>〇〇〇株式会社</b>	⑥住所 <b>東京都北区 王子本町〇-〇-〇</b> 電話 ( <b>000</b> ) <b>0000 - 0000</b>	⑦個人番号 <b>0000000000000000</b>	⑧請求者の加入している公的年金制度の種類別 ア. 厚生年金保険 イ. 国民年金 ウ. その他 ( ) 私立学校 ( ) 国家公務員等でない者	⑨支払希望金融機関 <b>銀行 信用金庫</b>	⑩所得の状況 令和 <b>5</b> 年分所得額 (請求者) <b>8,265,400</b> 円 (配偶者) <b>3,563,000</b> 円
請求者	氏名	<b>きたく はなこ</b>		⑩生年月日 <b>S56・2・15</b>	⑪職業 <b>ア. 被用者</b> イ. 公務員 (勤務先: ) ウ. 被用者等でない者	⑫控除対象配偶者又は同一生計配偶者の場合に〇印	⑬個人番号 <b>0000000000000000</b>	⑭所得の状況 令和 <b>5</b> 年分所得額 (請求者) <b>8,265,400</b> 円 (配偶者) <b>3,563,000</b> 円	⑮住所 (6と異なる場合)	⑯控除対象配偶者 <b>同一生計 配偶者</b>	⑰個人番号 <b>0000000000000000</b>	⑱所得の状況 令和 <b>5</b> 年分所得額 (請求者) <b>8,265,400</b> 円 (配偶者) <b>3,563,000</b> 円		
配偶者等	氏名	<b>きたく はなこ</b>		⑩生年月日 <b>S56・2・15</b>	⑪職業 <b>ア. 被用者</b> イ. 公務員 (勤務先: ) ウ. 被用者等でない者	⑫控除対象配偶者又は同一生計配偶者の場合に〇印	⑬個人番号 <b>0000000000000000</b>	⑭所得の状況 令和 <b>5</b> 年分所得額 (請求者) <b>8,265,400</b> 円 (配偶者) <b>3,563,000</b> 円	⑮住所 (6と異なる場合)	⑯控除対象配偶者 <b>同一生計 配偶者</b>	⑰個人番号 <b>0000000000000000</b>	⑱所得の状況 令和 <b>5</b> 年分所得額 (請求者) <b>8,265,400</b> 円 (配偶者) <b>3,563,000</b> 円		
大学生年代	氏名	続柄	生年月日	監護相当の有無	生計費負担の有無	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所 (別居の場合)	⑲児童	⑳児童	㉑児童	㉒児童		
令和6年度は、H14.4.2~H18.4.1生まれの子	<b>きたく いちろう</b>	子	<b>H17・3・30</b>	<b>有</b> ・無	<b>有</b> ・無	<b>同</b> ・別	年 月	年 月	<b>北 区 一 郎</b>	<b>子</b>	<b>H17・3・30</b>	<b>有</b> ・無		
令和6年度は、H18.4.2以降に生まれた子	<b>きたく さくらこ</b>	子	<b>H19・4・5</b>	<b>有</b> ・無	<b>同</b> ・維持	<b>同</b> ・別	年 月	年 月	<b>北 区 桜 子</b>	<b>子</b>	<b>H19・4・5</b>	<b>有</b> ・無		
	<b>きたく じろう</b>	子	<b>R4・8・21</b>	<b>有</b> ・無	<b>同</b> ・維持	<b>同</b> ・別	年 月	年 月	<b>北 区 二 郎</b>	<b>子</b>	<b>R4・8・21</b>	<b>有</b> ・無		

児童手当の受取口座は請求者名義のみです。配偶者名義・児童名義にはできません。

源泉徴収票、確定申告書類などを参考に、おおよその所得額（給与所得除後の金額等）を記入してください。記入する所得は「令和5年」1年間の所得です。請求者が主たる生計維持者であることを確認するための項目です。

会社員の場合は「ア.被用者」に〇、公務員の場合は「イ.公務員」に〇し、勤務先も記入。専業主婦や自営の場合は「ウ.被用者等でない者」に〇

マイナンバーカードや住民票でマイナンバーを確認して記入してください。

配偶者を請求者の税控除の対象としている場合は「控除対象配偶者」に〇、していないが、同一生計である場合は「同一生計配偶者」に〇

請求者が子の面倒を見ている場合は、「監護相当の有無」有に〇  
子の生活費を父母が出している場合は、「生計費負担の有無」有に〇  
子と父母等が同居の場合は、「同居・別居の別」同に〇

請求者が児童の面倒を見ている場合は、「監護の有無」有に〇  
児童の生活費を父母が出している場合は、「生計関係」同一に〇  
父母以外の請求者が児童の生活費を出している場合は、維持に〇  
児童と父母等が同居の場合は、「同居・別居の別」同に〇

この記入例のように、①大学生年代の子がいる世帯で、かつ、②高校生年代以下の児童と大学生年代の子の合計が3人以上いる場合は、「監護相当・生計費の負担についての確認書」の提出が必要です。

※裏面の注意をよく読んでから太枠を記入してください。※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書(かいじょう)ではっきり書いてください。

【注意】⑰「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」の場合は、本請求書と併せて「監護相当・生計費の負担についての確認書」を御提出ください。(⑰児童の兄弟等と⑱児童の合計人数が3人以上の場合に限る。)